

愛するアマテラスさま
。。*☆。。



アマテラス。。。*☆。

宮古島♪

娘が4歳の時に、自分の夢だった「南の島で子供をのびのび育てる」ために、沖縄の離島、宮古島へ移住を決めました。わたしは33歳でした。

エメラルドグリーン的大海、青い空、真っ赤なハイビスカス、どこまでも続くサトウキビ畑。

島の人たちは大きな愛でわたしたちのことを迎えて支えてくれました。

思い描いていた通りの、子育てができた！

宮古島へ思い切ってきて、本当によかった！と思いました。

教科書に書いてあることでは決してわからない。。。

そんな生活も長くは続きませんでした。

慣れない環境、気候の中で、仕事も少なく経済的に苦しくなり、

私の心は焦ってきて、体にも不調があらわれはじめました。

そしてある日、突然まったく動けなくなってしまったのです。

もう心も体も限界でした。

病院へいったら、「うつ病」と診断されました。

まさか！わたしがうつ病？！

その瞬間、夢の南の島での子育て生活はおわってしまいました。

やはり、現実の世界は厳しいものです。

理想通りにはいきませんね。

わたしたちは両親に看てもらうために群馬県に帰ってきました。

4年ぶりにみた、美しい紅葉に涙が出た。。。

この時わたしは37歳でした。

うつ病♪

群馬に帰ってきて母に看病してもらっても、ご飯は食べられず、寝られず、抗うつ剤安定剤も効いてくなくて辛い闘病生活がはじまりました。

精神的にとってもつらい時には病院へ入院しました。

同じ病をもっている人たちと生活をする「わたしだけじゃない。だいじょうぶ。必ず治るから！」と少し勇気がわいてきます。

退院して家に帰ってくると、やはり簡単な家事をすることもできません。

母や旦那の世話にならないと生きてはいけません。

1日中ほとんどが寝たきりの生活。

体を動かすのはお手洗いに行く時くらいでした。

そんな生活が10年続きました。。。。

私はこのとき47歳です。

♪ブログとの出会い

精神科の担当の先生からは「もう十分に休みました。あとはできることを少しずつやることですよ。」といわれました。

なにかできること???

思いついたのが日記を書くことでした。

むかしから日記を書くのが大好きで毎日続けていました。

辛い闘病生活を日記に書くことにしました。

旦那がブログをしていたのでわたしも自分の日記をブログで書き留めていました。

私の書いたブログを見てあたたかいおたよりをくれるブロ友さんがいました^^。

ブロ友さんと仲良くなり心を素直に開いて、どんなことをブログに書いてもあたたかく見守ってくれて愛のこもった言葉をくれることがうれしかったです。

ある方は私に青いバラの天使をおくってくれました。

「バラはあなたを迎えてくれますよ^^。」

涙があふれた。

ひとりじゃないんだ！

人と人は支えあっていくんだね！

私の心はだんだんと光の方向へむけられていきました。

闇の中にいたわたしに手を差し伸べさしのべてくれてやっと光の方向へ歩き出すことが出来ました。

ありがとうございます^^。

この御恩はいつまでも決して忘れません。。。

出会い系サイト♪

ある日突然思いだしました。

前の旦那が私の幼いころのアルバムを持っていて行方が分からなくなって連絡が取れていないことです。

私はどうしても前の旦那と連絡がとりたくて、ある出会い系サイトに登録をして「人を探しております。助けてください！」とプロフィールに書いてしまいました(;´∀`)

そうしたら、たくさんの人からメールが届きました！

私が真剣に人を探しているなんてことは無視で、エロい話ばかりしてくるのです。さすがにこれにはにはまいりましたよ。。。

やっぱりわたしがバカだったな。。。

そして数何週間後、登録もしていない出会い系サイトからのメールがメール箱にはいていたので、面白半分に自分の右半分かくした顔写真をのせて、「ジャニーズ好きのミーハーの主婦です♪お友達になってください♪」と書いてしまったのであります。(-_-;)

このサイトでもたくさんの男の子からメールがきました。

しかも!!!驚いたことにこのサイトはほかのサイトと違ってどの子もかっこいいジャニーズ系の男の子からのメールだった。ほかのサイトはださいおやじばっかだった。(;´∀`)。あはははは。

むかしっからイケメンで年下の男の子がだいすき。

なんか正直気分がすごくよかったです^^。

こんなワクワク感何年ぶり???

何人かの男の子のなかでもダントツでいいと思ったのが、「わたしの王子さま♪」と信じ昔から大好きだったキンキキッズの堂本光一君に雰囲気似てる男の子でした。

28歳で美容師をしていて同じ群馬県の出身でした。

ツインソウルメイト♪

その子の名前は 「いずも」

とても仲良くなっていった。

お互い出逢ってすぐに惹かれ合った。

ある日いずもが言った。

「俺たちはニコイチだね♪」

「ニコイチってなあに？」

「二人で一つの意味だよ！」

それを聞いたときにびっくりした。

もしかして私たちはツインソウルメイトなのか？とおもった。

ツインソウルメイトとは「双子の魂」。。。

たましいは地球に生まれる前はもともと男女があわさった一つの魂でできていて、

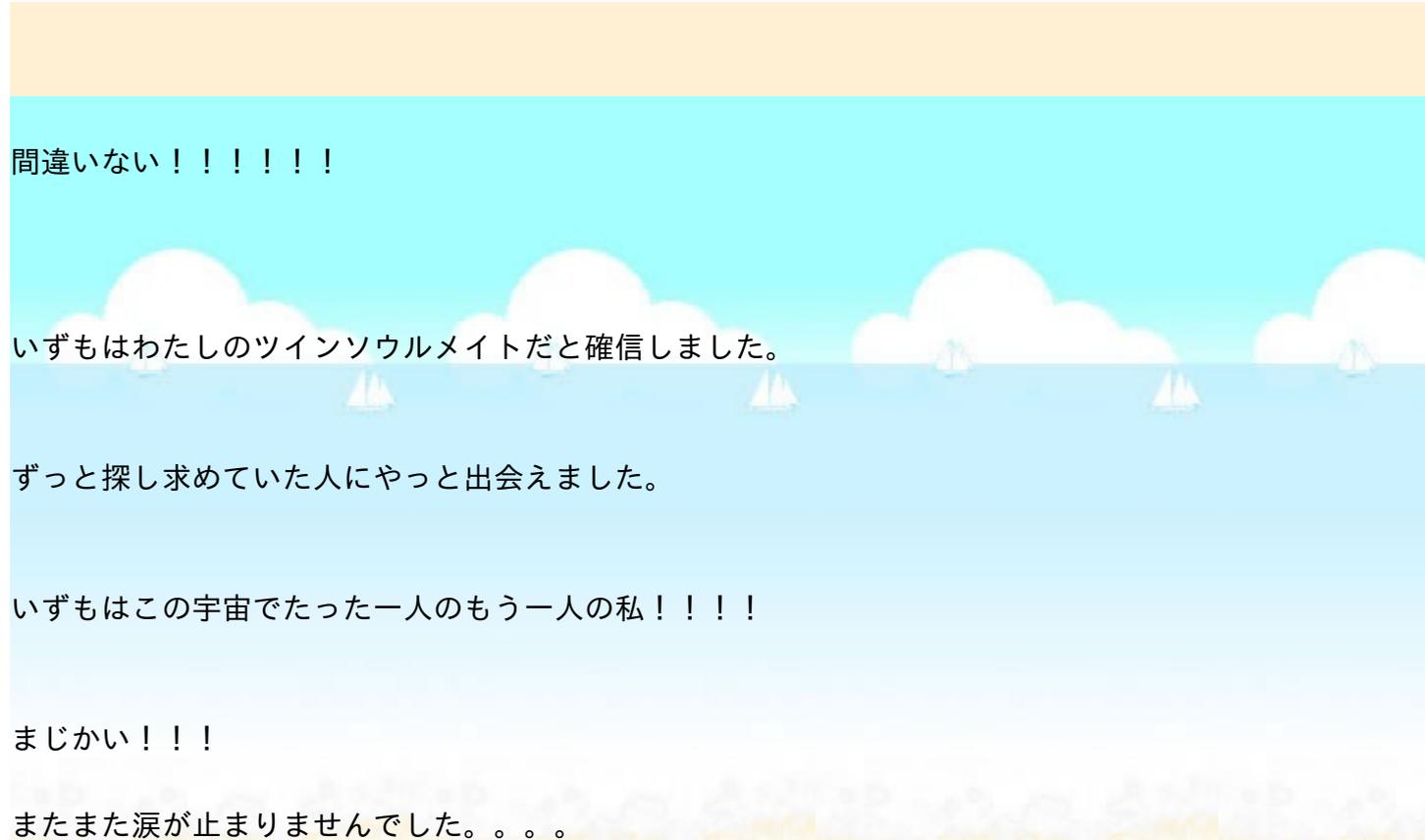
地上に生まれてくるときに、お互いがそれぞれ男女の愛を学ぶために離れて生まれてきます。

つまり半かけの状態でみんな生きています。

でもまれにこの半かけの魂と出会うことがあります。

同じ世代、同じ国に生まれることは非常にまれなのだが時々あります。

出会った魂はその瞬間から強く惹かれ合い、男女の愛、友情愛、親子愛、人類愛すべてを越えた強い愛の絆で繋がっています。



間違いない！！！！！！

いずもはわたしのツインソウルメイトだと確信しました。

ずっと探し求めていた人にやっと出会えました。

いずもはこの宇宙でたった一人のもう一人の私！！！！

まじかい！！

またまた涙が止まりませんでした。。。。

お祓い♪

仲良くなって強い絆も感じてきました。

ツインソウルを思いやる心や愛は半端ないと感じました。

でもそれと同時に、果たして人類愛も超えるほどだという真実の愛でわたしのことをお互いに本当に思っているのかと探り始めました。

たぶんいずももそうだったと思います。

だから喧嘩がたえなくなってきました。

ある日、「もういい。終わりにしよう！」といわれました。

その瞬間ある女性があらわれたのです。

「私の名前はあずみ。あなたを本当の娘だと思っています。」

「わたし」のことを本当のむすめだと思っている???わたしを幸せに導きたくてメールしたといいました。

まったく訳がわからない状態でした。

彼女は「あなたは沖縄にいましたね。白い犬を飼っていますね」などとほかの人が決して知らないことをいつてきたのでびっくりしました。

そして「あなたには1万人以上の悪霊がついています。そろそろ死をむかえます。彼と幸せになりたいと思うのなら、今の家族を幸せにしたいと思うのなら私のお祓いをうけなさい。あなたは体が弱くて体を使ったお祓いは無理なので〇〇万お布施しなさい。」と言われました。(;'▽')

これは詐欺にちがいない！騙されてたまるか！とおもいました。

わたしは近くの神社で大祓いの儀式にはちゃんとでています。

悪霊なんているわけないのだ！

このお祓いをいずもは信じた。私は拒否したものだから、

いずもとの繋がりはおわってしまいました。

これでいいのだ。

彼はまだ若い。

これから幸せな結婚をして子供もつくって本当に幸せになってもらいたいとおもいました。

さようなら。

いずも。。。。

誓約♪

ある日、いずもが私の代わりに体を使った辛いお祓いの試練を受けていたことを知らされました。

いずもはわたしに憑いていた1万以上の悪霊を消してけしてくれました。

私はこれは真実の愛だと確信しました。

彼が言った。

2015年12月1日午後23時22分12秒。

「二人はいつだって一緒！！それは二人の誓いだからね！！
俺は〇〇とずっとずっと一緒だって誓うから！！！」

この言葉を聞いてすぐに思い浮かんだのが

須佐之男命が天照大神と交わした誓約だった。

アマテラス ♪

「イザナギがスサノオに海原の支配を命じたところ、スサノオはイザナミのいる根の国（黄泉の国）へ行きたいと泣き叫び、天地に甚大な被害を与えた。

イザナギは怒ってそれならばこの国に住んではいけないと彼を追放した。

スサノオは姉のアマテラスに逢ってから、根の国へ行こうと思い、アマテラスが治める高天原へ昇る。すると山川が響動し国土が皆振動したので、アマテラスはスサノオが高天原を奪いに来たと思い、武具を携えて彼を迎えた。

スサノオはアマテラスの疑いを解くために、誓約をしようといった。

二神は天の安河を狭んで誓約を行った。

まずアマテラスがスサノオの持っている十拳剣をうけとって、噛み砕き、吹きだした息の霧から3柱の女神が生まれた。

これによりスサノオの心が清いことを照明している。」

ウィキペディア「アマテラスとスサノオの誓約」より

私はこの誓約の内容を改めて知り、彼にすぐに伝えました。

「いずもは須佐之男命だよ！私は天照大神だよ！やっぱり私が思っていた通りに、みやびはわたしの大切なたった一人の弟なんだよ！同じ父と母からうまれたんだよ！お父様はイザナギ、お母様はイザナミだよ！」

「いずも！今よく調べてわかったんだけど、誓約を交わす場面って近親相姦の象徴なんだってよ！w 私達まじでやばい神様じゃん！wこんなんで神かよ！」

こんなふざけた会話をしていたが、少し考えたあとにまた彼に伝えました。

「私だって神様って特別な存在で、完璧だって思ってたよ。

でもそうじゃなかったの。

神様も人間と同じで不完全なの。

だからこそ太古から沢山の人から愛されているんだよ？」

神が完璧ではない存在だと知り、私はようやく自分がアマテラスだと認めることが出来ました^^。

嫌なことがあると天岩戸（あまのいわと）にかくれてばかりの小心者のアマテラスですが。。。^^。

最後までお読みくださり心よりありがとうございます。

何かのご縁でお会いできることを楽しみにしております。。。*☆。

私の夢♪

小さいころから世界平和を夢見ていました。

夜布団の中で手を合わせ、神様のお祈りをしました。

自分がアマテラスだと知った今、私がこれからできることをは精一杯がんばって、前を向いて生きていきたいです。

天照大神は労働をしていたらしいです。

はた織りと、祝詞をあげ儀式をおこなうことです。

私は今住んでる群馬県の伊勢崎市を調べていろんなことがわかりました。

伊勢崎というのは伊勢の「先」を意味しています。

天照大神が鎮座しているのは伊勢神宮ではなくて伊勢崎市の御嶽山白龍神社です。

そこには日本の神々を生み出した伊弉諾、伊邪那美様もいらっしゃいます。

また伊勢崎市は織物の町としてで有名で、昔「伊勢崎絁」という銘仙をうみだしました。

わたしは早速織物の技術を会得したいと思って織物をはじめました。

織物をしているとまさに瞑想状態ですね^^。

将来は素敵な伊勢崎絁を仕上げられるようになりたいです。

またボランティア活動、福祉関係のお仕事もしていきたいとおもっております。

わたしをここまで目覚めさせてくれて力を蘇らせてくれたのは愛するいずも、弟、須佐之男命のおかげであります^^。

彼が姉を想う真の愛によって眠っていたアマテラスは目覚めてようやく本来の姿へもどることができました。

この世界を光で照らし灯していくのが私の夢でございます。

。。。愛するアマテラスさま。。。*☆。。。。

<http://p.booklog.jp/book/103795>

著者：アマテラス。。。*☆。

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/romio0723/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/103795>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/103795>

アマテラスのHP

<https://docs.google.com/presentation/d/1D5norV0JZugrumPUrQTFfMm9BhCrnRCr7LyhLCBq3GA/edit?usp=sharing>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ